

# 平成24年度 支援物資物流システム中国ブロック協議会 とりまとめ

南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模災害への備えとして、支援物資物流における官民の連携及び協力体制の充実強化を図るとともに、広域的な応援体制の具体化について検討を行った。

平成23年度の中国・四国・九州運輸局合同で行われた「広域物資拠点(1次)の開設・運営」を中心とした協議成果をふまえ、平成24年度は、1次から市町村2次物資拠点及び避難所までの支援物資物流体制の構築に向けた、①シミュレーション検討、②モデル地区の検証、③訓練シナリオ等検討、などについて行った。

## 平成23年度成果を踏まえた平成24年度検討の狙いと内容

### ①シミュレーション検討

非被災地から輸送される支援物資量に対して、県が開設する1次広域物資拠点について、中国5県の各県において十分な供給力を有しているか、その床面積規模についてシミュレーション検討を行った。  
また、1次～2次拠点への県内輸送時に必要なトラック台数の確保見通しについて検討した。

### ②モデル地区の検証

モデル地区(岡山市・広島市)を対象として、1次～2次物資拠点～避難所までの物資輸送の流れについて、県・市町村・関係者間の現状の輸送体制状況、資機材の調達力状況、輸送ルートへの耐災害性状況について確認することで、ボトルネックとして危惧される留意事項を抽出し、その対応方策例について確認した。

### ③訓練シナリオ等検討

望ましい支援物資物流システムの構築に向けて、中国5県における訓練の取り組み状況や先進事例の取り組み内容をふまえ、考えられる訓練メニュー案の構築と、訓練シナリオ構築時における留意点を整理した。

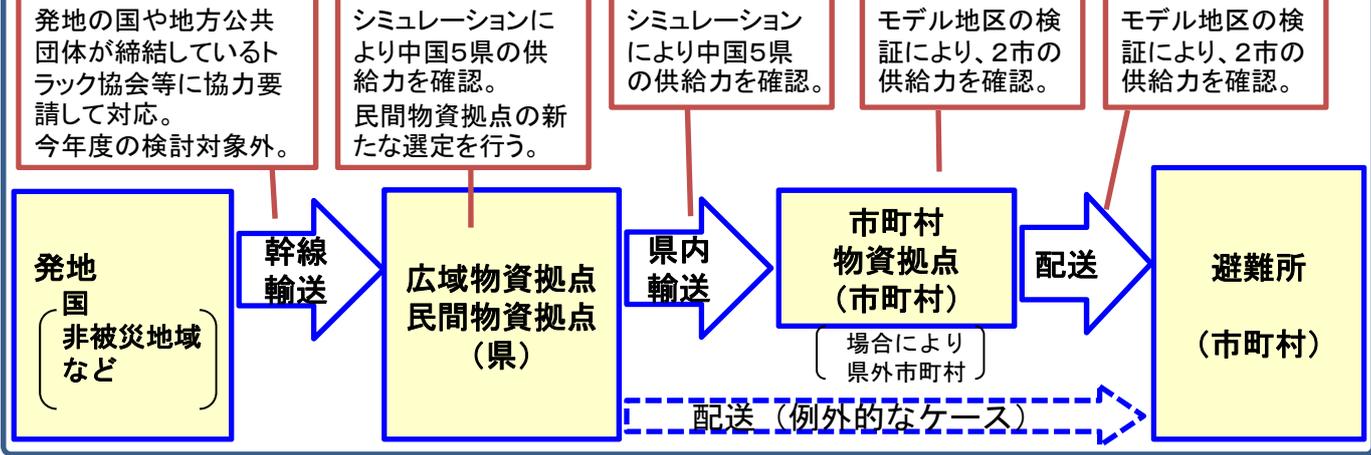
### 民間物資拠点の拡充

平成23年度に引き続き、民間物資拠点の選定を行った。山陽3県は12箇所追加、山陰2県は11箇所新規選定。

### 官民協定の締結・充実

県と物流事業者団体との間での災害発生時の協力協定締結・充実を促進。倉庫協会との新規協定締結の推進(3県で協議中)。トラック協会との専門家派遣を盛り込んだ協定充実の推進(2県で協議中)。

## 【支援物資輸送の流れから見た今年度の主な検討内容】



## 協議会の検討成果のとりまとめ

### ①シミュレーション検討の成果

- 非被災地からの支援物資量に対する必要規模(床面積)に対して、各県の1次広域物資拠点の規模は充足していると考えられる。ただし、指定箇所は、「公園や学校のグランド等の屋外施設であり、荷捌き・保管等に耐えうる環境確保が難しいこと」、「避難所などに利用されること」、「拠点数に限られる上に県内に偏在し2次拠点への県内輸送に偏りが生じてしまうこと」などのリスクがあることを確認した。
- 1次～2次物資拠点への県内輸送時のトラック確保については、「支援物資だけでなく備蓄物資などの輸送もあること」、「トラック・運転手が被災している可能性があること」などのリスクがあるものの、必要なトラック台数の予測値と県内の登録台数の比較では、絶対的に不足しているとは考えにくい状況が確認できた。また、必要台数分の「緊急通行車両確認標章」の事前登録の推進の必要性などを確認した。
- 民間物資拠点は、1次物資拠点だけでなく、市町村2次物資拠点のバックアップとしても活用すべきことを確認し、引き続き民間物資拠点の指定拡充・リストの共有を目指す。

### ②モデル地区の検証の成果

- 県の協力により、市町村2次物資拠点の指定状況を確認すると、「一部で指定できていない市町村が存在すること」、「指定していても避難所として利用される可能性があること」、「耐震性、荷役機械や非常用電源等の確保など、ハード面での環境を有していない」などの問題を抱えていることが確認された。
- 輸送ルートについても緊急物資輸送道路により各物資拠点を接続しつつも、県管理の緊急物資輸送道路において、大規模損傷の可能性のある道路橋が存在するなどの問題が確認された。
- 県1次物資拠点、市町村2次物資拠点のハード環境の向上、地域バランスを考慮し、避難所等に活用されても支障のないように適切な指定確保を目指す。
- 民間物資拠点の開設運営、県内輸送・配送部分のトラック協会への要請など、自治体と関係機関との連携協力を進めるための協定締結・充実や防災計画の見直し、職員マニュアルの作成を推進する。

### ③訓練シナリオ等検討の成果

- 「物資拠点の開設・運営訓練」、「拠点間の輸送訓練」、「国等への物資調達要請訓練」、「陸海空輸送訓練」、「民間倉庫の活用要請訓練」などの訓練メニューが想定され、シナリオ構築時には、PDCA体制の構築、マニュアル作成への展開、関係者との連携強化などに留意すべきことを確認した。
- PDCA体制を構築し、訓練の狙いを踏まえたシナリオによる実効性のある物資輸送訓練の展開を図る。

### 民間物資拠点の拡充・官民協定の締結・充実の成果

- 民間物資拠点のリストアップの拡充(23箇所)  
(岡山5→9 広島4→9 山口4→7 鳥取0→6 島根0→5 計36箇所)。
- 倉庫協会との新規協定締結の推進→3県で協議中  
(昨年度末までに締結済みは1県)。
- トラック協会との専門家派遣を盛り込んだ協定充実の推進→2県で協議中  
(昨年度末までに締結済みは3県)。



# 物資拠点候補施設管理シート（凡例）

番号:				備考:	半角数字で記載願います。	
会社名	柴田通運株式会社				「有・無」、「可・不可」等凡例を確認の上記載願います。	
代表者(社長、代表取締役等)	柴田 裕基					
会社本社	東京都千代田区1-1-1					
施設概要	施設名(民間物資拠点リストに記載されている名称)	千葉県営業所 C号、D号、E号倉庫			・番地まで詳細に記載願います。 ・災害発生時において、夜間などは危険なことから、24時間対応出来ない場合も想定されるため、実際に対応可能な時間を記載願います。	
	施設の管理者	〇〇所長				
	平常時の営業時間、曜日	年中無休、5:00~24:00				
位置アクセス	施設の所在地	千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山1-1-1			大凡の幅員を記載願います。	
	施設の海拔(0m~0mとして記載)	5	~	10		7.5
	高速ICからの距離(km)と所要時間(分)	常磐自動車道 ICからの距離(km) ICからの所要時間(分)				
		〇〇インターチェンジ	5	20		
	拠点付近の道路の幅員(m)	大型車両が通行可能な程度			10	
個別の施設の名称		C号倉庫	D号倉庫	E号倉庫		
施設の概要	屋根の有無	有	有	有		
	階数	1	2	2		
	床の強度(フォークリフト(F)使用可否)	可	可	可		
	稼働可能時間(災害発生時に24時間稼働できるか)	(半日程度、終日等)	半日程度	終日	3/4日程度	
		(時間)	12	24	16	
	トラックの施設内進入	進入の可否	可	不可	不可	
		進入可能な最大車種(t)	10	-	-	
	トラックの施設横付けの可否	横付けの可否	可	可	可	
		横付け可能な車種(t)	10	10	10	
		横付け可能な台数(台)	5	5	5	
	トラックの進入経路(入り口と出口が別になっているか)	同一 同一 別				
	耐震性(新耐震基準に対応できているか)	対応の可否	可	可	不可	
		別途補強対応状況(済or未)	-	-	済	
	冷蔵品への対応可否(容量)m3	-	-	3000		
	冷凍品への対応可否(容量)m3	-	-	1000		
海上コンテナへの対応可否	対応可否	可	可	不可		
	コンテナサイズ(f(フィート))	30	30	-		
	コンテナ個数(個)	10	10	-		
鉄道コンテナへの対応可否	対応可否	可	可	不可		
	コンテナサイズ(f(フィート))	12	12	-		
	コンテナ個数(個)	10	10	-		
施設の規模	延べ床面積(m2)	3000	2000	5000		
設備・備品	エレベーターの有無(物資の搬入搬出に使用可能か)	無	有	有		
	シャッターの種類(手動による開閉の可否)	平時の電動or手動	電動	電動	電動	
		停電時の手動の可否	可	可	可	
	非常の電源の有無	無	無	有		
	非常の照明の有無	有	有	有		
	平常時の連絡手段	所内事務所の電話				
	非常時の通信手段の有無(固定電話、衛星電話、FAX)	衛星通信電話:有り(FAX機能付)				
		フォークリフトの配備台数(平常時、災害発生時に使用可能と想定される台数)	平時(台)	20	20	20
	パレットの保有枚数及び主なサイズ(平常時、災害発生時に使用可能と想定される枚数)	平時(枚数)	1000	1000	1000	
		非常時(枚数)	200	200	200	
	保有するテントの張数とサイズ	サイズ((Om×Om/枚)	-	-	25	
		張数(枚)	0	0	1	
	保有する防水用ブルーシートの枚数とサイズ	サイズ((Om×Om/枚)	-	-	50	
		張数(枚)	0	0	1	



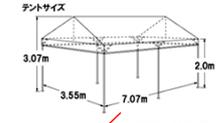
・トラックが倉庫内や上屋に進入可能かどうか？



・トラックバースをイメージ



・テント  
使用用途としては、上屋が無かったり、上屋に保管出来ない、支援物資を野積みする際に、風雨から守るために使用予定。



=3.55m × 7.07m = 25.0985m<sup>2</sup> = 25m<sup>2</sup>  
大凡で構いませんので記載願います。

非常時のフォークリフト台数及びパレット枚数に関しては、大凡でかまいませんので記載願います。



・防水用ブルーシート  
使用用途としては、上屋が無かったり、上屋に保管出来ない、支援物資を野積みする際に、風雨から守るために使用予定

可能であれば名字等をいれていた

可能であれば名字等をいれていた

困難であれば記載は構

業務用の携帯電話で可

業務用の携帯電話で可

民間物資拠点名	担当者氏名(代表)	通常時連絡先			優先順位	担当者氏名	災害発生時連絡先				備考	
		固定電話	FAX	E-mail			固定電話	携帯電話	衛星電話	FAX		E-mail
柴田通運株式会社	〇〇所長	03-5253-8297	03-5253-1559	shibata-h87ny@x x x (営業所の代表的なメールアドレス)	1	〇〇所長	自宅の電話番号				-	
千葉県営業所 C号、D号、E号倉庫					2	××副所長	自宅の電話番号				-	

## ◆ 自治体と物流事業者団体との協定締結状況

H26.2.26現在

モード	協定締結先	協定内容	地方自治体					政令市		
			広島県	岡山県	山口県	島根県	鳥取県	広島市	岡山市	
輸送等に係る協定	陸上輸送	トラック	緊急輸送	○	○	○	○	○	○	※
		トラック協会	物流専門家	○	○	○	○ (H25.4.26)	×	※	※
	搬送		○	○	○	○ (H25.4.26)	×	○	※	
	霊柩車両	専門家	○	×	×	○ (H25.4.26)	×	※	×	
倉庫	倉庫協会	物資保管	○	○ (H25.7.23)	○ (H26.2.19)	×	×	※	※	
		物流専門家	○	○ (H25.7.23)	○ (H26.2.19)	×	×	※	※	

※大規模災害時は、県の協定を基に県が一括して要請。

## ➤ 協定締結等に向けた最近の動き

### 【トラック】

- 物資保管及び物流専門家の派遣に係る協定の締結(島根県)
- 霊柩搬送及び物流専門家の派遣に係る協定の締結(島根県)

### 【倉庫】

- 物資保管及び物流専門家の派遣に係る協定の締結(岡山県)
- 物資保管及び物流専門家の派遣に係る協定の締結予定(山口県)

### 【その他】

- 物資保管を農協施設と協定の締結(鳥取県)

# 災害に強い物流システムの構築

## 国土交通省 南海トラフ巨大地震対策計画中間とりまとめ（平成25年8月22日）

●国土交通省において、東日本大震災の教訓を踏まえつつ、南海トラフ巨大地震への対策として、現時点で考える内容を取りまとめるとともに、「**国土交通省の総力を挙げて対応すべき7つの重要テーマと10の重点対策箇所**」等を整理。

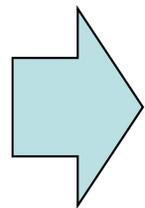
●「10の重点対策箇所」の一つとして、「**中国圏、四国圏において、自治体及び物流事業者等と連携した支援物資輸送体制を構築し、訓練等を実施する。**」と位置づけ。

### ◆ 深刻な課題（「被災地への支援」段階）

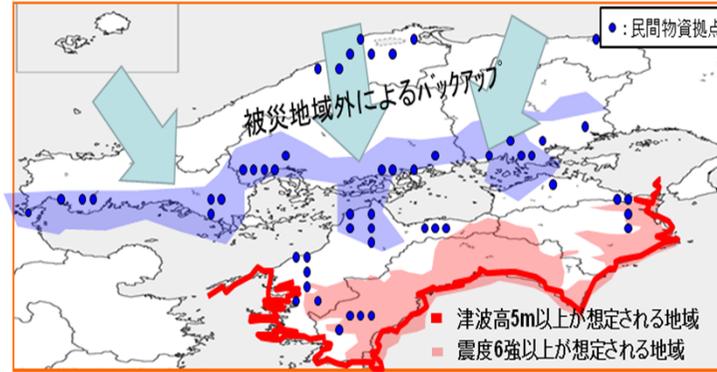
○発災翌日には、最大で約430万人が避難所に避難するため、救援物資の不足等が懸念。

○多数の自治体では庁舎損壊、人的損失、資機材流出等が発生し、行政・防災・避難施設等の機能を喪失。

膨大な数の避難者の発生、支援物資の要請が発生し、対応能力を超えるおそれ。



### ◎ 民間事業者等を総動員した支援物資輸送を展開



物流事業者による支援物資の仕分への協力体制

## 中国運輸局の取組み【支援物資輸送訓練の実施】

●広島県内で、協議会で選定した民間物資拠点を実際に使用した実働訓練を実施。

●南海トラフ巨大地震時における地域を超えた応援体制の構築に向けて、本省・中国・四国運輸局を中心として、民間物流事業者等と連携のうえ、情報伝達及び実働訓練を実施。【**国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画中間とりまとめ**】において「**国土交通省の総力を挙げて対応すべき10の重点対策箇所**」の一つとして位置づけた訓練として実施】

◆ 訓練日時：平成26年1月20日(月)

### ◆ 訓練参加機関

広島県、広島市、愛媛県、国土交通省、中国運輸局、四国運輸局、中国地方整備局、四国地方整備局、(社)広島県トラック協会、愛媛県トラック協会、広島県倉庫協会、愛媛県倉庫協会、広島県旅客船協会

### ◆ 訓練概要

